

社会福祉法人 中津市社会福祉協議会

平成 28 年度 中津市社会福祉協議会 事業報告

■ 事業報告 概要

▶ はじめに

少子高齢化と経済格差の拡大などによる生活困窮等の課題や過疎化による集落機能の低下、家族関係や地域住民同士のつながりが希薄化している状況に加え、高齢者や障がいのある人への虐待、孤立死など、地域における福祉課題や生活課題が生じています。

このような状況の中、児童、障がい者、生活困窮者等の自立に向けた取り組みとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが進められています。

『心とこころ 人とひととの“つながり”』の基本理念の実現を目指す本会として、地域福祉を推進する社会福祉協議会だからこそできる地域づくりの手法や技術を活かした活動や支援に積極的に取り組んできました。

平成 28 年度は、第 3 次中津市地域福祉計画・地域福祉活動計画（平成 29 年度～平成 33 年度）を地域住民の皆様や市と協働で策定いたしました。また、第 2 次本会発展・強化計画に位置づけた目標を基本に、住民生活の多様な課題に対応できる総合相談支援体制の準備を行いました。

さらに、国の介護保険制度改定に伴い事業運営が厳しくなった介護保険事業の経営基盤の強化を図るため、新たに在宅福祉課を創設し、財政の健全化に努め、効果的・効率的な業務運営を行い職場環境の改善を図りました。

▶ 平成 28 年度の取り組み

強化項目 1 総合相談支援体制基盤の確立

1 多様なケースに対応するワンストップ窓口の設置と他職種との連携強化

生活困窮事業の総合的相談窓口機能を基本に住民にとってわかりやすい相談窓口として、平成 29 年 4 月のスタートに向け準備を進め、専用相談電話窓口（電話番号 26-1237）を開設しました。さらに社協内部の各種相談対応業務の基盤構築を行うべく、相談支援にあたるよう努めました。また、外部との連携として、相談内容に応じて他の社会福祉法人等多職種協働による会議を開催し、多様なケースに様々な相談機関が連携してサポートできる体制づくりに取り組みました。

強化項目 2

福祉サービスの開発と展開

1 その人の生活を支える住民型有償サービスの立上げ支援

27年度より準備を進めていた住民同士の支え合いの取り組みである有償サービスが2地区（山国、耶馬溪）で立ち上がりました。さらに、新たな2地区（本耶馬溪、今津）にて活動の必要性を働きかけ、話し合い（座談会・意見交換会・準備会）に参加し、立上げに向けての支援を行いました

2 地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築に向けての体制整備

生活支援コーディネーターによる生活支援の担い手の養成やサービス開発、地域住民と専門職の会議の開催、専門職の地域への働きかけを促す研修会の開催等、地域包括ケアシステム構築につながるネットワークづくりを行いました。また、「カフェよりあ」を開催し、既存の地域の拠点の多機能化により高齢者の新たなニーズ把握に努めました。

3 認知症高齢者の支援体制の充実

認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人やその家族が地域の人や専門職とお互いを理解していただく場の支援や、耶馬溪下郷地区で、認知症 SOS 声かけ模擬訓練を地域住民の方と行いました。また、三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国の4エリアにおける多職種協働を進める学習会の開催を開始しました。

4 地域サロン等での機能訓練やレクリエーション活動による介護予防推進

地域のサロン等からの要望により、デイサービスの理学療法士等を講師として派遣し、介護予防の推進に努めました。また、新しい介護予防事業の説明等にも取り組みました。

5 尊厳を大切にしたい生きがいくくり活動や地域交流の推進

豊寿園ふれあい夏祭りを地域住民、家族、各種団体、ボランティア等、総勢250名で開催しました。屋台や夜店の雰囲気に入所者も浴衣姿で参加し、にぎやかな夏祭りを満喫していました。また、やすらぎ荘では、夏まつりや餅つき交流会など、これまでの地域交流行事に加え、平成28年度は、下郷小学校・下郷保育所・柿坂保育園からの訪問を頂き、歌や楽器演奏・ダンスなどを披露して頂くことが出来ました。利用者様は、児童・園児さんの微笑ましい姿に大変喜ばれており、子どもたちと接する

良い機会となりました。

6 専門職によるプログラムの充実や、高齢者が自立した日常生活を送れる支援

今までの生きがいデイサービスが、介護保険制度による緩和型デイサービスへと移行し、さらに介護予防に向けて内容を強化する中で、中津歯科医師会との連携による口腔機能向上教室や、管理栄養士による栄養教室を実施しました。また、高齢者の低栄養・重症化予防等の推進事業スタッフ研修に職員を派遣し、専門的な知識の習得に努めました。

7 職員の技術を高めるための専門的な研修の開催

介護保険事業所において、介護保険法に求められる年間研修計画を立て県や県社協が主催する外部研修に積極的に参加し、または、専門的な講師を招いて内部研修を開催し、各種研修会を通じて資質の向上に努めました。

8 入所者の介護予防の為に機能回復訓練等の実施

豊寿園入所者の個々の疾患や障害特性に応じ、リハビリを行うことにより、園での生活の中で出来ることが増え、自信を取り戻すことで自立への意欲向上を図ることが出来ました。

強化項目3 “生きがい”につながる福祉活動とボランティア活動

1 寄り合いの場（サロン）活動の充実、強化

誰もが気軽に寄り合える場として、新規サロンの立上げに向けて支援を行いました（新規立上げ 5件）。また、サロン同士の横のつながりづくりの支援や活動の継続に役立つ助成金の活用などを働きかけました。

2 創作活動や販売などによる自主財源（地域還元・貢献）の確保や地域活動への参加による自立促進や孤独感の解消（豊寿園）

入所者による生け花を「道の駅なかつ」への展示や除草作業、地域イベントへの積極的な参加を行い、コラボ事業として、道の駅において入所者の手づくり品を販売し、その益金を社会貢献活動（生活困窮者支援）に転換する活動を行いました。

3 ボランティア・市民活動センター運営委員会の充実

運営委員会を開催し、運営状況や年間スケジュール、事業内容の協議を行い、多様

な立場から意見を頂きました。

強化項目 4 地域福祉ネットワークの実現

1 地域の課題解決に向けてつなげられる地域の人財づくり

様々な事業を活用することで地域での柔軟な支援体制につながる各種講座を開催し、地域の人財づくりに努めました。（地域福祉講座、市民後見人候補者スキルアップ研修・地域福祉コーディネーター養成講座・地域支え合いスタッフ養成講座 等）

2 第3次中津市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定に向けた作業部会への支援

計画の策定年度にあたり、市内15地区で作業部会を立ち上げ、社協内各部署の職員が参加し地域住民の皆様とともに考え、安心して暮らせる地域づくりのため、地域ごとに活動計画（5ヶ年）を策定しました。

3 ネットワークに繋がる見守り活動の推進

耶馬溪地区において、地域住民の見守り活動を更に広げ、企業や団体の協力も得られるよう、見守りネットワークの拡大に向けた話し合いや検討を行いました。

4 孤立ゼロに向けた取り組みとネットワーク強化

地域包括支援センターにおいて市の孤立ゼロ事業を活用し、地域から引きこもりがちな高齢者を訪問して、状況の把握に努めました。

5 地域と一体となった防災訓練等の実施

豊寿園において、地域交流活動として施設消防訓練を、地域防災教室として開催し、入所者と地域住民の交流や防災意識の醸成に努めました。

強化項目 5 効果的・効率的な経営基盤（組織・人財・財政）の確立

1 職員安否確認システムの構築、社協内の災害時初動マニュアルの作成と体系化

法人内の職員災害支援チームが主体となり、災害時初動マニュアルの作成に向けた防災訓練（山国エリア）や、災害時のBCP（事業継続計画）も含めた研修をおこないました。

2 職員間の連携・情報共有の強化

本会ホームページの職員専用ページ内容充実（各種規程の閲覧）や職員同士の連絡会議等の充実を図りました。

3 職員の職場環境の改善

産業医を含めた衛生委員会（新規）を立ち上げ、会議を開催して職員の職場環境の改善に努めました。また、特別養護老人ホームやすらぎ荘にタブレット端末を新規導入して、業務の効率化を図りました。

4 職員の研修体系の確立

職制別の研修会（管理職・中間管理職・一般職員等）の定期的な開催や全職員対象の全体職員研修会を開催し、社会福祉協議会職員としての意識醸成に努めました。

5 自主財源確保のための多様な取り組み

特別養護老人ホームの入所対策として、居宅介護支援事業所との連携会議を開催しました。また、社協会員制度の一層の理解を深めるため、市内11校区の自治委員会において会員制度説明会を年2回開催しました。

6 地域に密着した地域福祉事業方針と収支管理体制とが一体となった経営体制の確立

介護保険事業の基盤強化を図るため、在宅福祉課を新設し、事業経営に取り組み、役員及び管理職による経営会議を開催し、収支管理状況の分析や今後の事業経営方針について協議を行いました。

■平成28年度 事業報告

1. 法人会務の運営

法人の運営にあたり、理事会・評議員会・監事会を開催しました。
提案された議案については、原案どおりすべて承認されました。

[理事会の開催]

第1回 平成28年 4月 1日(金) 15時00分 場所 中津市教育福祉センター 中会議室AB
出席 15名 書面出席 2名
議第1号 会長・副会長の選任について
指名案件 副会長の順位指名並びに常務理事の指名について

第2回 平成28年 5月25日(水) 13時00分 場所 中津市教育福祉センター 中会議室AB
出席 14名 書面出席 1名 欠席2名 監事出席 1名
議第1号 平成27年度事業報告について
議第2号 平成27年度決算報告について
監査報告
議第3号 平成28年度第1次補正予算(案)について
議第4号 評議員の選任について

第3回 平成28年10月25日(火) 13時30分 場所 中津市教育福祉センター 中会議室AB
出席 15名 書面出席 2名 監事出席 1名
議第1号 平成28年度第2次補正予算(案)について
議第2号 定款の一部改正について
議第3号 評議員の選任について

第4回 平成29年 2月 7日(火) 13時30分 場所 中津市教育福祉センター 中会議室AB
出席 11名 書面出席 5名 欠席 1名 監事出席 2名
議第1号 平成28年度第3次補正予算について
議第2号 評議員の選任について
議第3号 評議員選任・解任委員会運営細則について
議第4号 評議員選任・解任委員の選任について
議第5号 評議員候補者の選任について

第5回 平成29年 3月21日(火) 13時30分 場所 中津市教育福祉センター 中会議室AB
出席 15名 書面出席 2名 監事出席 1名
議第1号 平成28年度第4次補正予算について
議第2号 給与及び退職手当規程の一部改定について
議第3号 平成29年度事業計画について
議第4号 平成29年度当初予算について
議第5号 定款の一部改定について
議第6号 経理規程の一部改定について
議第7号 評議員候補者の選任について
議第8号 中津市特別養護老人ホームやすらぎ荘施設長の任免について
議第9号 副会長の選任について

[評議員会の開催]

第1回 平成28年 5月28日(土) 10時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール
出席 20名 監事出席 1名
議第1号 平成27年度事業報告について
議第2号 平成27年度決算報告について
監査報告
議第3号 平成28年度第1次補正予算(案)について
議第4号 理事の選任について

第2回 平成28年11月 1日(火) 10時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール
出席 25名 監事出席 1名
議第1号 平成28年度第2次補正予算(案)について
議第2号 定款の一部改正について

第3回 平成29年 2月16日(木) 10時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール
出席 23名 監事出席 2名
議第1号 平成28年度第3次補正予算について
議第2号 理事の選任について

第4回 平成29年 3月29日(水) 10時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール
出席 29名 監事出席 2名
議第1号 平成28年度第4次補正予算について
議第2号 平成29年度事業計画について

議第3号 平成29年度当初予算について
議第4号 理事の選任について

[監査会の開催]

平成28年5月16日(月) 13時30分 中津市教育福祉センター 中会議室AB
結果：事業状況、収支決算状況とも特に指摘事項なし

2. 会費、寄付金及び共同募金

社会福祉協議会の事業運営にあたり、社協会費、寄附金及び募金収入の概要は次のとおりです。

1) 会費(会員)

一般会費 4,736口 4,733,500円
特別会費 96口 480,000円
合計 4,832口 5,213,500円

地区	一般会費		特別会費	
	口数	金額	口数	金額
中津	—	—	96口	480,000円
三光	1,484口	1,484,000円	0口	0円
本耶馬溪	1,021口	1,021,000円	0口	0円
耶馬溪	1,372口	1,371,500円	0口	0円
山国	859口	857,000円	0口	0円
計	4,736口	4,733,500円	96口	480,000円

会員制度の理解を深めるための広報活動の強化

社会福祉協議会会員制度の理解を深めるため、説明会を開催

- ・連合自治委員会理事会への出席 3回
- ・会員制度説明会の開催(校区自治会11校区)
平成28年7月 開催数 11回 参加者 140名
平成29年3月 開催数 11回 参加者 123名

2) 寄付金

香典返し 335件 11,691,000円
一般寄附 51件 801,881円
合計 386件 12,492,881円

地区	香典返し		一般寄附	
	件数	金額	件数	金額
中津	160件	5,413,000円	45件	750,236円
三光	36件	920,000円	0件	0円
本耶馬溪	31件	1,180,000円	4件	38,645円
耶馬溪	58件	2,505,000円	2件	13,000円
山国	50件	1,673,000円	0件	0円
計	335件	11,691,000円	51件	801,881円

3) 物品寄付

ギフトカード 1件 16,000円
車椅子 5台 416,800円
電動ベッド一式 3台 495,000円
方言カレンダー 10冊 27,000円
日用品 1式 85,000円
タオル 105枚 0円
介護用品(紙おむつ) 1件 15,000円
紙芝居舞台 1台 3,000円
Tシャツ 20枚 25,000円
歩行器・シャワーチェア 1件 10,000円

物品寄付額(相当額) 1,092,800円

4) 中津市共同募金委員会への協力

赤い羽根共同募金	20,691件	8,854,045円
歳末たすけあい募金	21,284件	6,124,837円
合計	41,975件	14,978,882円

募金種類	赤い羽根共同募金		歳末たすけあい募金	
戸別募金	20,684件	8,672,346円	20,684件	3,715,974円
街頭募金			3件	35,632円
法人募金	1件	29,328円	551件	2,145,873円
職域募金	3件	145,191円	2件	5,243円
イベント募金			1件	22,470円
その他募金	2件	7,179円	43件	199,645円
預金利息	1件	1円		
計	20,691件	8,854,045円	21,284件	6,124,837円

[戸別募金内訳]

地区	赤い羽根共同募金		歳末たすけあい募金	
旧中津市内	15,919件	6,672,306円	15,919件	2,858,094円
三光	1,528件	641,340円	1,528件	275,040円
本耶馬溪	1,016件	426,300円	1,016件	182,880円
耶馬溪	1,359件	570,780円	1,359件	244,620円
山国	862件	361,620円	862件	155,340円
計	20,684件	8,672,346円	20,684件	3,715,974円

- ・大分グルメ散歩募金（大分県共同募金事業） 146,930円売上げ、29,328円を募金協力として頂きました。
- ・期間外募金39,935円（戸別募金：6,000円、自動販売機手数料：33,924円、銀行利息：11円）につきましては、29年度計上。

5) 中津市共同募金委員会への協力（災害義援金）

平成28年熊本地震義援金	476,741円
平成28年4月地震大分県被災者義援金	107,312円
平成28年鳥取県中部地震災害義援金	2,621円
平成28年新潟県糸魚川市における大規模災害義援金	1,491円
岩手県台風10号大雨等災害義援金	236円
	588,401円

3. 住民主体による小地域ネットワークの推進

1) 寄り合いの場支援

交流・関係づくり・介護予防を目的に行われている住民主体の寄り合いの場活動として支援。
(全地域で支援を行っています。)

中津市全体	92カ所	寄り合いの場の種類・新規内訳
地域サロン	5カ所	地域の中の民家や空き家等を活用し、開催回数も週単位で、日常生活に密着した活動
ミニデイサービス	8カ所	小・中学校の範囲で、いきいきサロンの広域版である「交流型」と生きがいややりがいをテーマとした「活動型」
いきいきサロン	79カ所	自治区や集落等の小地域で、高齢者等を対象にしながら、住民同士の交流の場として実施

- ・内、新規5か所（鶴居）湯屋仲よしクラブ（三保）黒川地区「ひばり会」古森シルバーサロン
（今津）うへのサロン（山国）長尾野サロン

2) 地域福祉ネットワーク協議会構築支援

地域の社会資源や人材のネットワークを図り、住民一人ひとりが主体的に地域の社会福祉に参加・協力しながら、地域の身近な「支えあい・助け合い」活動を支援。

○地域福祉ネットワーク協議会の組織状況 (地区内の地域福祉推進活動)

No.	校区 地区	組織名称 (校区ネット)	発足 年月日	定例会	事務局会 議等	校区 ネット	小地域 ネット	平成28年度の主な動き	以前より継続している動き
1	南部	南部地区ネットワーク協議会ぽけっと	平成18年 10月 ↓ 平成24年 4月	随時	第1火曜日	1	0	・公民館まつりでバザー ・住民対象研修会「防災学習会」(12/3:参加者約60名) ・週一体操教室の取り組み	・情報紙の発行(年3回) ・サロンの支援 ・ネットワーク総会、研修会 ・コーディネーターの設置(毎週土曜日)
2	北部	(未定)				-	-	・地区防災訓練実施 ・週一体操教室の取り組み	・寄り合いの場、協議体のあり方を検討
3	小楠	(未定)				-	-	・小楠地区を拠点とした、子ども食堂の取り組み ・第3次計画作業部会をベースに組織づくりを検討	・計画作業部会員有志をベースとしたネットワーク立ち上げについて検討
4	豊田	「生き活き・豊田」	平成22年 12月	随時	随時	1	0	・豊田カフェ(2回開催:世代間交流他) ・週一体操教室の取り組み	・ネットワーク総会 ・校区内を6地区の合議体として必要な活動への取組み ・ふるたさん家立ち上げ(支援)
5	沖代	沖代校区ネットワーク協議会(事務局:あいがも)	平成18年 9月	随時	第4水曜日	1	0	・研修会開催「悪質商法撃退講座」(9/27:ボランティア参加全員50名)	・情報紙の発行(年3回) ・ネットワーク総会、研修会 ・コミュニティーセンター運営 ・コーディネーター設置(毎週水曜日)
6	鶴居	鶴居校区ネットワーク協議会	平成26年 4月	随時	第2火曜日 (2ヶ月1回)	1	1	・週一体操教室の取り組み ・新規サロン発足	・ネットワーク総会、研修会 ・新規サロン立ち上げ支援 ・見守り活動の組織化についての検討
7	大幡	大幡福祉の会 “輪”	平成20年 1月	月1回	随時	1	0	・地域福祉研修会開催(3/7:参加者 約90名) ・こども連絡所活動について、小学校と連携	・月1回の定例会により、地域福祉活動計画の推進を図る ・地域福祉研修会の開催 ・社会資源リスト全戸配布 ・災害時要援護者マップの更新 ・支え合いの大切さを地域に伝えるため、支え合い広報誌を自治委員の総会時に配布
8	如水	如水ふれ愛の会	平成19年 2月	随時	第2火曜日	1	0	・第3次計画作業部会をベースに組織の見直し検討	・如水サロンふれ愛の支援
9	三保	(未定)				-	-	・サロン活動が発足	・H23.4以降、地域福祉活動計画作業部会で検討
10	和田	(和田福祉部会:準備中)		第2木曜 (29月1回)	随時	-	-	・第3次計画作業部会をベースに組織づくりを検討	・作業部会員有志で「和田地区地域福祉部会(仮称)」発足 *偶数月で開催 ・田尻地区いきいきサロン支援
11	今津	福祉の郷 「いまづ」	平成21年 1月	奇数月	随時	1	0	・いきいき今津まちづくり協議会と福祉の郷「いまづ」のあり方についての検討 ・住民型有償サービスの立上げに向けての座談会実施	・防災をテーマにした地域づくり ・視察の受入 ・災害対策、自主防災組織についての研修
12	三光	(ふくしの里“やま”: 準備中)			随時		0	・15地区でのサロン活動 ・小地域ネットワーク会議(8/1~)(2/1~)	・15地区でのサロン活動 ・小地域ネット会議(年2回) ・ネットワークの準備として事務局体制づくり
13	本耶馬溪	(ふれ愛ネットワーク 推進委員会)					17	・17地区単位での見守り活動、交流活動 ・ふれ愛ネットワーク研修会 ・ネットワーク協議会立上げに向けての話し合い ・住民型有償サービスの立上げに向けての座談会実施	・17地区単位での見守り活動、交流活動 ・各地区で防災訓練実施
14	耶馬溪	耶馬溪町地域見守り ネットワーク協議会	平成23年 5月	随時	随時		12	・住民型有償サービス「たんぼぼ」立ち上げ支援 ・代議員会(7/21) ・視察受入 ・見守り活動意見交換会 ・防災訓練、教室、図上訓練 ・薬剤師会、保健所と連携(山移) ・学校、関係団体、企業との連携に向け協議	・12地区単位で見守り活動、代表の情報交換会、研修会実施 ・会長・事務局会議 ・防災活動講師派遣
15	山国	源流の郷やまくに福祉 の会	平成22年 10月	随時	随時		0	・住民型有償サービス「つゆくさ」立ち上げ支援 ・定例会の開催(6/20) ・第3次計画 作業部会参加支援	・4地区単位を基本に活動を展開 ・H23.4~の溝部地区寄り合いの場“たいしょう陣”開催 ・買い物支援事業への理解 ・ネットワーク会議

※他の地区でも地域福祉推進活動は進んでいます。社協は地域福祉推進活動や協議会の支援を行っています。

(2) 第3次中津市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定 (計画期間：平成29年度～平成33年度までの5カ年計画)

中津市においては、市町村合併後の地域における福祉の夢や課題に対する実践活動を形にするため、行政計画である「地域福祉計画」と、地域住民が主体となってつくる15地区の行動計画である「地域福祉活動計画」を一体的に策定をしています。計画の策定においては、第1次から市内15地区で作業部会を行い、地域の課題を地域の皆さんとともに考えともに創り上げていく過程を大切にしています。第3次の計画策定においても、市内15地区で作業部会を行い、今後5カ年の計画を策定しました。

期日	実施内容	参加者数等	備考
平成28年2月～4月	15地区での座談会及び作業部会の参加募集	約50ヶ所	おむすび会議・民児協・サロン・PTA他
平成28年5月	第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画全体説明会	199名	中津市教育福祉センター
平成28年6月～11月	15地区で作業部会の開催	1,973名	15地区で全113回の作業部会実施
平成28年1月～2月	15地区で最終確認	247名	15地区の作業部会にて計画書の最終確認

※計画の策定にあたり、中津市社協職員(45名)が各15地区で担当地区を決め、計画策定の支援を行いました。

3) 災害にも強い地域づくり活動支援

『災害にも強い地域づくり』を目指し、地震による災害を想定した発生対応型訓練を実施することにより、住民一人ひとりの防災に関する意識の高揚と防災行動力の向上と安否確認機能(見守り体制の強化)を図ることを目的。

実施地区	実施内容	期日	参加者数	備考
三光佐知	防災訓練・教室教室	平成28年6月26日	180名	
耶馬溪城井(上宮の馬場)	防災訓練・教室	平成28年7月4日	25名	
耶馬溪下郷(樋山路)	防災教室・土のう作り	平成28年8月22日	20名	新規
南部小祝	防災訓練・教室	平成28年11月6日	100名	
三光秣	防災訓練	平成28年11月13日	70名	新規
大幡黒水	防災訓練・教室	平成28年11月13日	30名	
耶馬溪深耶馬(大城、株の木他)	防災教室	平成28年11月16日	10名	
南部校区	防災研修会	平成28年12月3日	60名	
耶馬溪城井(戸原)	避難訓練・教室・芋煮交流会	平成28年12月4日	60名	
耶馬溪深耶馬	防災見守りマップ作成 図上訓練	平成28年12月13日	20名	新規
耶馬溪山移	防災見守りマップ作成	平成29年1月20日	20名	

4) 各種団体等助成金交付事業

市内において社会福祉を目的として、各種団体やボランティアグループ等が実施する様々な社会福祉貢献活動や事業に対して助成金の交付を行う事業

区分	件数	助成額	助成内容
住民型有償サービス活動助成	3件	360,000円	住民主体の在宅福祉サービス(家事援助・身体介護等)団体への活動助成
小地域福祉活動助成	29件	2,112,600円	見守り活動及び交流活動を行うために、自治区単位で組織されている団体への活動助成
地域福祉推進活動助成(市)	3件	336,000円	地域の福祉課題の解決を目指すべく組織された地域福祉ネットワーク協議会への活動助成
地域福祉推進活動助成(歳末)	6件	450,000円	地域の福祉課題の解決を目指すべく組織された地域福祉ネットワーク協議会への運営助成
ボランティア活動助成	59件	1,770,000円	会員が自発的に明確な意思・目的をもって結成し、活動している団体への活動助成
寄り合いの場活動助成	88件	3,139,000円	地域の寄り合いの場(地域サロン等)への活動助成(内県事業:80,000円)
一般公募助成	5件	887,000円	高齢者・障がい者(児)・子ども・防災など事業への助成(1団体上限30万円)
公民館助成	14件	210,000円	校区(地区)公民館を対象に、地域福祉の拠点や活動の連携を図る目的として助成
民生委員児童委員活動助成	15件	1,057,477円	共同募金(企業募金)実績に基づき助成
自治委員活動助成	15件	1,872,501円	共同募金と歳末たすけあい募金(戸別)実績に基づき助成
ボランティア推進校助成	10件	290,000円	小中高学校が取り組む福祉活動・ボランティア活動に対する助成
合計	247件	12,484,578円	

4. 相談機能の強化による在宅福祉サービスの充実

1) 障がい者福祉サービス事業

障がいをもつ方に対して、ホームヘルプサービスを実施。

①身体障がい者居宅介護事業

実利用者数 7名 延利用回数 745回 延活動時間数 972時間

本耶馬溪	4名	本耶馬溪	270回	本耶馬溪	416時間
耶馬溪	3名	耶馬溪	475回	耶馬溪	556時間

②知的障がい者居宅介護事業

実利用者数 1名 延利用回数 149回 延活動時間数 149時間

耶馬溪	1名	耶馬溪	149回	耶馬溪	149時間
-----	----	-----	------	-----	-------

③精神障がい者居宅介護事業

実利用者数 1名 延利用回数 156回 延活動時間数 168時間

本耶馬溪	1名	本耶馬溪	156回	本耶馬溪	168時間
------	----	------	------	------	-------

④同行援護事業

実利用者数 11名 延利用回数 331回 延活動時間数 445時間

本耶馬溪	9名	本耶馬溪	198回	本耶馬溪	312時間
耶馬溪	2名	耶馬溪	133回	耶馬溪	133時間

2) 移動支援事業

自宅に引きこもりがちな障がいをもつ方の外出を支援するサービス。

実利用者数 3名 延利用回数 83回 延活動時間数 213時間

本耶馬溪	3名	本耶馬溪	83回	本耶馬溪	213時間
------	----	------	-----	------	-------

3) 障がい児長期休暇支援事業(さんぽ)

市の受託事業として、障がい児の健全育成、夏休みの長期休暇時の預かりに家族の介護負担の軽減と市民の障がい児への理解と人材育成を目的とした事業(市受託事業)。

- ・延利用者数 160名
- ・延ボランティア数 188名

開催日数	22日
利用者数	19名
ボランティア	188名
スタッフ会議開催	2回

4) 障がい児(者)余暇活動支援事業(てくてく)

余暇を充実して過ごすための活動の場を提供することで、障がい児者の心身の健康増進と自立のための能力の獲得を目的とした事業(市受託事業)。

- ・延利用者数 138名 内 きょうだい児42名
- ・延ボランティア数 32名

開催回数	11日	
実利用者数	34名	(きょうだい児10名)
実ボランティア	18名	

5) 福祉用具貸出事業

在宅での要支援者や障がい者等に対して、福祉用具を貸与し、本人や介護者の負担を軽減するなど、在宅生活の便宜を図る。

【電動ベッド】

- ・貸出総数 188台
- ・保有台数 200台

新規

中津	23件
三光	9件
本耶馬溪	9件
耶馬溪	14件
山国	10件
計	65件

【車椅子】

- ・貸出総数 107台
- ・保有台数 150台

新規

中津	97件
三光	18件
本耶馬溪	1件
耶馬溪	8件
山国	13件
計	137件

H29. 3. 31現在

6) 見守りふれあい事業

各種団体や小中学校と連携し、一人暮らし高齢者及び高齢者世帯等に対して、はがきや配食を通じて交流をおこなっています。

(1) ふれあい郵便事業

対象世帯数 381世帯 発送部数 1,181通

耶馬溪	240世帯	耶馬溪	480通	(年2回)
山国	141世帯	山国	701通	(年5回)

(2) ふれあい配食事業

対象世帯数 340世帯 配食数 608食

本耶馬溪	220世帯	本耶馬溪	246食	(年1回)
山国	120世帯	山国	362食	(年3回)

7) 介護保険事業

①介護老人福祉施設事業（中津市特別養護老人ホームやすらぎ荘）

「常によりよい介護サービス・福祉サービスの提供を！」をモットーに、65歳以上で身体や精神上の障がいのため常に介護が必要で、在宅での介護が困難な人が対象の事業となります。特に食事、排せつ、入浴など日常生活の介助や健康管理・リハビリ・療養上のケアを受けながら有意義な日々を送っていただいております。

(本入所)・・・定員 80名

サービス 実施状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	実人数		82名	81名	81名	82名	81名	80名	82名	81名	81名	82名	80名	82名
延べ人数		2,249名	2,339名	2,252名	2,352名	2,374名	2,322名	2,392名	2,323名	2,372名	2,378名	2,130名	2,291名	27,774名

②短期入所生活介護事業（中津市特別養護老人ホームやすらぎ荘）

冠婚葬祭や旅行などで介護ができないときに利用したり、介護疲れを防ぐために定期的に利用することができます。食事や入浴、排泄など日常生活の世話やレクリエーション、リハビリなどが受けられます。

(短期入所)・・・定員 20名

サービス 実施状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	実人数		23名	27名	23名	21名	19名	20名	21名	24名	22名	22名	24名	23名
延べ人数		382名	336名	354名	325名	338名	286名	311名	312名	341名	331名	351名	333名	4,000名

③訪問介護事業

要支援者及び要介護者に対して、ホームヘルプサービスを実施。

実利用者数 148名 延利用回数 11,602回 延訪問時間 10,760時間

本耶馬溪	46名	本耶馬溪	4,066回	本耶馬溪	3,343時間
耶馬溪	102名	耶馬溪	7,536回	耶馬溪	7,417時間

④通所介護事業

要支援者及び要介護者に対して、デイサービスを実施。

(通常型) 開設日数 1,212日 日/年 実利用者数 403名 延利用人数 26,194名

三光	304日	三光	69名	三光	4,840名
本耶馬溪	303日	本耶馬溪	95名	本耶馬溪	5,798名
耶馬溪	302日	耶馬溪	125名	耶馬溪	7,869名
山国	303日	山国	114名	山国	7,687名

(緩和型) 開設日数 525日 日/年 実利用者数 105名 延利用人数 2,334名

三光	196日	三光	33名	三光	924名
耶馬溪	234日	耶馬溪	54名	耶馬溪	1,013名
山国	95日	山国	18名	山国	397名

⑤訪問入浴介護事業

要支援者及び要介護者に対して、訪問入浴サービスを実施。

実利用者数 19名 延利用回数 552回

三光	17名	三光	489回
耶馬溪	2名	耶馬溪	63回

→ 平成29年2月28日事業所廃止

⑥居宅介護支援事業

要支援者及び要介護者に対して、介護計画書を作成。

ケアプラン作成件数 3,873件 件/年

本耶馬溪	1,397件
耶馬溪	1,215件
山国	1,261件

8)生きがい活動支援通所事業

在宅の要介護高齢者や身体障がい者で自立の困難な者に対して、自立的生活の助長、社会的孤立感の解消、心身維持向上などを図るとともに、その家族の身体的・精神的負担の軽減を図る。

実利用者数	72名	延利用人数	1,630名
三光	27名	三光	629名
耶馬溪	33名	耶馬溪	804名
山国	12名	山国	197名

9)軽度生活援助員派遣事業

ひとり暮らし高齢者等に対して、身の回りの世話や介護の援助を行い利用者の生活支援や健康維持を図る。

実利用者数	11名	延利用回数	355回	延活動時間数	426時間
本耶馬溪	2名	本耶馬溪	95回	本耶馬溪	118時間
耶馬溪	9名	耶馬溪	260回	耶馬溪	308時間

10)高齢者生活福祉センター事業

高齢者に対して、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活が送れるよう支援。

利用者数	44名	短期入所利用者数	8名
本耶馬溪	14名	本耶馬溪	4名
耶馬溪	11名	耶馬溪	0名
山国	19名	山国	4名

11)老人福祉施設養護老人ホーム運営事業

老人福祉施設事業 (養護老人ホーム中津市豊寿園)

本施設は、平成26年10月1日より指定管理者制度により中津市から運営を受託しています。経済的理由、環境上の理由により自宅で生活が困難と判断された、65歳以上の自立した高齢者の方が対象の施設です。地域福祉を推進する社会福祉協議会として、地域に開かれた施設経営を展開し、地域住民参加の活動を計画し地域交流を深め、また入所者の生きがいにつながる取組みを積極的に推進しています。

サービス 実施状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日
	入所者実数	34名	32名	34名	34名	31名	32名	30名	31名	32名	34名	36名	38名	47名
	延べ人数	1,066名	1,005名	988名	1,054名	974名	935名	974名	916名	988名	1,016名	977名	1,137名	12,030名

12)地域包括支援センター事業

市内5つの包括支援センターのひとつ「地域包括支援センター社協」。三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国の4地区に事業拠点を配置。

(1)包括的支援事業

①総合相談支援業務

高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活ができるようさまざまな相談に応じる

相談件数	3,978件
------	--------

②権利擁護業務

高齢者が尊厳を持って生活できるように、虐待や困難事例への対応及び成年後見制度の活用を行う

対応件数	382件
------	------

③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域のケアマネへの指導助言や多職種連携によるケアマネジメント体制を作る

・包括的・継続的なケア体制の構築	138回		
・地域における介護支援専門員のネットワークの活用	31回		
・日常的個別指導・相談	74回		
・支援困難事例等への指導・助言	11回	合計	254回

(2)介護予防事業普及啓発事業

高齢者を介護している方や地域支援者等 一般住民に対して、介護・福祉サービスや介護予防について普及啓発を図る

○介護予防教室の開催

- ・ 実施回数 2回
- ・ 延利用者数 106名
- 介護予防の講演会・相談会
 - ・ 実施回数 17回
 - ・ 延利用者数 351名
- 住民の自主的な活動の場の立ち上げ支援についての活動
 - ・ 実施回数 28回
 - ・ 関わった組 2名

(3) 介護予防支援業務

要支援1.2の方に対する介護予防サービス計画作成に関する業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	233件	181件	216件	188件	223件	211件	198件	254件	179件	175件	260件	238件	2,556件
作成件数	135件	137件	141件	140件	147件	144件	142件	139件	138件	136件	142件	140件	1,681件

介護予防・日常生活総合支援事業の方に対するサービス計画作成に関する業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	384件	359件	307件	320件	400件	389件	452件	327件	380件	413件	416件	394件	4,541件
作成件数	149件	153件	152件	168件	168件	183件	187件	184件	197件	199件	202件	210件	2,152件

(4) 孤立ゼロ事業

28年度新規事業。福祉サービスにつながらず、地域でも孤立している高齢者の現状を把握し、訪問活動により孤立を防ぐ事業

	三光	本耶	耶馬	山国	合計
対象者数	34名	35名	28名	18名	115名

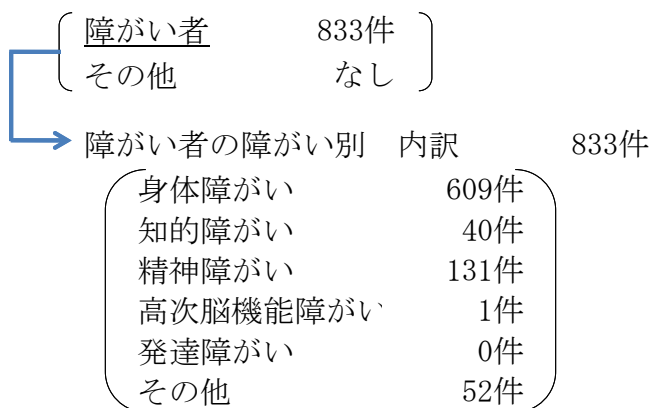
(5) 各種調査業務

- ① 「食」の自立支援事業実態調査 調査件数 28件
- ② 住宅改修理由書作成 10件
- ③ 生きがい活動支援通所事業実態調査及び相談 なし
- ④ 軽度生活援助員派遣事業実態調査及び相談 なし
- ⑤ 緊急通報用電話貸与事業実態調査及び相談 31件
- ⑥ 老人日常生活用具給付等事業実態調査及び相談 1件

1 3) 合併周辺地域総合相談支援センター事業

合併周辺地域総合相談支援センターとして、本耶馬溪・耶馬溪・山国エリアにおいて、障がい者・児の総合相談支援業務を行う。

相談件数 833件 相談実人員 7人



1 4) 認知症地域支援推進事業

平成27年度からの委託事業で2年目。地域包括包括支援センター内に認知症地域支援推進員を置き、認知症患者・家族に対する支援と認知症理解に向けた地域づくりを行なう。

(1) 人員配置

- ・ 認知症地域支援推進員 1名
- ・ 嘱託医 1名

(2) 会議・研修会参加

項目	回数	内容
認知症地域支援推進員等連絡会議	3回	大分県主催の会議。大分県の認知症施策の説明、推進員の活動、認知症サポート医との連携、若年性コーディネーターとの連携などについて
その他の会議・研修	14回	SOS見守りネットワーク部会、DASC研修、初期集中支援チーム員会議

(3) 各種取り組み

①徘徊模擬訓練

項目	回数	内容
実行委員会会議	4回	耶馬溪地区内の地域住民・警察・消防団・小学校・行政との実行委員会を組織し、当日までの準備と終了後の振り返りを行なう
SOS声かけ模擬訓練	1回	11月17日（日）耶馬溪下郷地区の3エリア（島・宮園・樋山路）を対象に、認知症を正しく理解し適切な声かけをする訓練。 参加者数106名。

②オレンジカフェ

・認知症患者、家族、地域住民、専門職等が集い、共に楽しんだり、理解し合い、つながり再構築の場として開催。

地区	三光	本耶馬溪	耶馬溪	山国	合計
開催場所数	1カ所	2カ所	2カ所	1カ所	6カ所
開催回数	3回	5回	3回	3回	14回

③認知症家族介護者の集い

認知症患者を介護している家族に対し、同じ立場の人同士での交流や意見交換の場をつくり、心のケアや介護負担の身体的精神的軽減を図る。

地区	三光、本耶馬溪、耶馬溪、山国 4地区合同
開催回数	年2回

④個別相談対応

個別訪問、家族との話し合い、医療機関へのつなぎ、福祉サービスへのつなぎ 等

地区	三光	本耶馬溪	耶馬溪	山国	合計
対応件数	10件	2件	3件	1件	16件

⑤普及啓発活動

・広く住民に対する理解促進

項目	回数	内容
認知症講演会	1回	『今日から始めよう！認知症予防と地域の支え合い』 10/2実施 講師：ふるかわメディカルクリニック 院長 古川信房氏 参加者：154名
認知症サポーター養成講座	14回	中津東高校、三郷小学校、三光児童館、サロン、女性学級、イオン三光等に出向き認知症についての講座を実施。

⑥認知症の人を地域で支える学習会

認知症になっても住み慣れた地域で生活できるよう、医療、介護との連携を図る機会を作り、認知症の理解を深め地域で認知症の人を支える仕組みづくりを図る。

開催地区	三光、本耶馬溪、耶馬溪、山国地区合同
開催場所	2カ所（本耶馬溪、耶馬溪）
開催回数	年2回
参加対象者	医療機関、介護保険事業所、民生委員、警察、住民型有償サービス、市役所職員、地域包括支援センター職員等59名の参加

15) 生活福祉資金貸付事業

低所得者や障がい者世帯に対し、経済的自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活が営めるよう資金面の支援と、相談等を行う事業。申請の95%が緊急小口資金という現状。

資金種類		相談延件数	申請件数	決定	決定金額
総合支援資金	生活支援費	3	0	0	0円
	住居入居費	3	0	0	0円
	一時生活再建費	0	0	0	0円
福祉資金	福祉費	61	3	3	3,280,000円
	緊急小口資金	252	66	66	5,900,000円
教育支援資金	教育支援費	7	0	0	0円
	就学支度費	12	0	0	0円
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	2	0	0	0円
	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	1	0	0	0円
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0円
合計		341	69	69	9,180,000円

※要保護世帯向け不動産担保型生活資金については、県社協が直接担当します。

16) 総合相談支援事業

(1) 生活困窮者自立支援事業

平成26年度モデル事業として受託してから、3年目の事業。さまざまな生活困難な状況について継続的な相談支援をすると同時に、社会的孤立を防ぐ地域づくりを行なう事業。相談種別を限定しない総合相談窓口機能を持つ。

①相談支援実績

実相談者数 299件

月別件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
24件	39件	34件	23件	20件	25件	26件	21件	16件	22件	18件	31件	299件

相談種別 ※平成27年度の種別内訳。重複あり

病気、健康、障がい	住まい	収入・生活費	家賃・ローンの支払	税金や公共料金等の支払	債務	仕事探し、就職	仕事上の不安やトラブル	地域との関係	家族・人間関係
95件	50件	191件	32件	35件	14件	73件	19件	10件	41件

子育て	介護	ひきこもり・不登校	DV・虐待	食べる物が無い	生活支援	権利擁護	その他	合計
18件	33件	9件	5件	27件	22件	4件	35件	713件

※その他については、他機関との連携や不安の訴え等

②一時生活支援事業

ホームレスの人への緊急一時的な宿泊費と衣食の支援（現物給付） 事業実施者数 6名

③会議・研修会の開催

事業項目	回数	内容	
補助ネット会議	11回	4/25・5/23・6/22・8/30・9/26・10/25・11/28・12/27・1/24・2/27・3/27 経済的困窮のみならず、複合的な課題を抱える生活困窮者を幅広く支援する為、『生活困窮者自立支援制度』に係る機関と『おおいた“暮らしサポート事業”』に係るCSWと連携し、相談者に対する効果的な支援を行うため、定期的な連携会議を開催。	
ハローワークとの連携会議	2回	5/30・H29/1/20 生活困窮者の就労問題について意見交換を行い、就労先紹介、情報共有等を行う。また、ハローワークと協働し、生活困窮者の発掘と就労による自立支援を図る。	
はるかふえ（おしごと相談会）	1回	10/25 ハローワークとジョブカフェの専門職と連携することで、就労に不安や問題を抱えている方、就職活動が上手くいかない方に対して、気軽に来れる場所としてカフェのような雰囲気、適切な専門職に結びつく場所として中津市教育福祉センターにて開催。	
生活困窮者等就労体験	1回	11/13 就労に不安や問題を抱えている方を対象として、無理のない範囲で就労への体験を行うことで幅広い視野をもってもらうことを目的とする。今年度はみんなのふくしまつりにて、ジュースの販売を自立相談員と一緒にすることで、本人の可能性という部分と選択肢が広がるよう経験という部分で就労体験となる。	
子ども食堂	子ども食堂活動支援	30回	7月より毎週開催されてきたボランティアによる子ども食堂に職員が交替で参加し、活動の現状把握と今後の支援のあり方について調査。
	子ども食堂情報交換会	1回	H29/3/26 子ども食堂への関心がある方や子ども食堂関係の方々を対象として、研修と情報交換会を開催する。研修では、子どもの現状とスクールソーシャルワーカーについて話を聞き、情報交換会としては、それぞれの子ども食堂についてやこれからの子ども食堂について話をする。

(2) 心のケア事業（ほっとテラス）

医師・心理カウンセラーによる、住民の抱える不安や福祉ニーズへの対応、また、家族関係・人間関係など各種相談に応じる専門相談事業。

担当	相談形式	担当月	実績	
			相談開設回数	相談者数
橋本 眞子医師 （精神科医）	毎月第2水曜 午後2:00～4:00 原則 2名まで	奇数月 （計6回）	3回	4名
松尾 浩氏 （心理カウンセラー）		偶数月 （計6回）	3回	3名

17) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートセンター中津）

認知症等高齢者や知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方を対象に、日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、判断、意思表示を適切に行えるよう支援を行う。

・相談支援対応件数 4,470件

内訳

- ・初回相談受付・問い合わせ対応
- ・契約締結までの間の訪問、支援計画の作成、連絡調整
- ・利用開始後の相談対応
- ・その他、総合的な相談対応等

・新規契約 25件 ・解約者 30件

契約者数（3/31現在） 71名

内訳	居住エリア別		居住状況別		世帯経済状況別		年齢別		障がい種別	
	中津	40名	在宅	37名	生活保護	27名	65歳以上	44名	認知症	38名
	三光	9名								
	本耶馬溪	4名	施設	29名	非課税	39名	40～64歳	23名	知的障がい	18名
	耶馬溪	7名								
	山国	9名	病院	5名	課税	5名	39歳未満	4名	精神障がい	5名
	その他※	2名								
※…契約している方が宇佐・高田・豊前の施設等に一時的に入所・入院									その他	10名

・生活支援員登録数 15名

18) 成年後見事業

(1) 市民後見推進事業

市より受託し、今後の第三者後見人としての「市民後見人」の養成及び市民への成年後見制度周知等の取り組みについて推進

① 会議・研修会の開催

事業項目	回数	内容
市民後見推進協議会会議	2回	関係機関や専門家の方々による事業推進の協議会を発足し会議を開催。 (2回：平成28年5月19日、平成29年3月6日)
市民後見推進研修会	2回	地域住民に対し、身近な老後の問題などを通して成年後見制度や市民後見推進事業に対する理解と関わりを深めていただくことを目的として開催。

② 市民後見人候補者フォローアップ研修の開催

今までの養成講座を修了し、市民後見人候補者として登録した人を対象に研修を開催。登録更新には各種別1回以上の受講を義務付け。

研修種別	回数	内容
講義	4回	7/23：支援時のコミュニケーション、8/21：市民後見推進研修会、10/20：法的な手続きについて 3/5：市民後見推進研修会
実務	4回	9/15：成年後見人就任時の流れ、11/9, 10, 16：施設実習、12/17：現役後見人の活動を知る（視察研修）、 2/26：事例検討

(2) 法人後見事業

法人として、後見人となり、被後見人の身上監護・財産管理を行う。

受任時の手続きは職員が中心に行い、日常的な後見事務は後見支援員を中心に実施。

事業項目	件数	内容
新規受任者数	4件	市長申立による受任4件。
後見業務	7件	累計受任数7件の事務。 年度途中で被後見人1名が亡くなり、3/31現在6件の事務を行なっている
申立て支援	なし	親族による申立てで、書類作成、家裁との調整等申立て事務をサポート。
法人後見支援員登録者数	15名	平成28年度市民後見人候補登録者30名のうち、15名が登録。
後見業務に携わる支援員数	4名	法人後見支援員15名のうち、実際の後見事務担当者として任命した支援員数。
受任調整委員会の実施	2回	専門職等有識者による受任調整会議を設置・開催し、法人後見事業で受任する事案について協議。

19) 介護保険要介護認定調査事業

被保険者からの要介護認定申請に基づき、認定調査員が自宅もしくは施設へ訪問し、対象の方の心身の状況などを調査する業務

調査件数 2,313 件/年

20) 放課後児童クラブ事業

小学校に就学する児童に対して、授業の終了後における適切な保護及び健全な育成を図る。

年間実施日数 1,431日開設

登録児童人数 110名

延利用児童人数 15,248名

真坂	287日
山口	288日
秣	285日
樋田	286日
城井	285日

真坂	27名
山口	26名
秣	22名
樋田	23名
城井	12名

真坂	3,410名
山口	4,413名
秣	3,619名
樋田	2,374名
城井	1,432名

5. 多様な人材による地域活動の推進

1) みんなのふくしまつり開催事業

市内の子どもから高齢者まで楽しめ、地域に身近なボランティア市民活動や地域のさまざまな活動に触れ、世代や障がいを超えた市民の参加と交流（つながり）を目的として「第8回 みんなの”ふくしまつり”」を実行委員会形式で開催。

[実施日時] 平成28年11月13日（日）午前10時から午後2時まで

[参加者数] 約1,200名（一般参加者 900名＋ボランティア等関係者 300名）

[実行委員会開催数] 各種団体代表18名の構成メンバーにより、計6回の実行委員会を開催。

[内 容] 1、アトラクション 4 団体
 2、バザー・屋台コーナー 21 団体
 3、参加体験・見るコーナー 17 ブース
 4、その他（抽選会、共同募金受付、メッセージボード等）

2) 住民参加型有償サービス事業（社協型）

自助・互助の精神を基調とした地域の“ボランティア的な”意識を持たれた人々と、低額有料（非営利）のサービスを必要として在宅で自立した生活を営む人々などが、地域に暮らす住民の構築をひとりひとりがお互いに助け合う社会を目指し、地域福祉の向上に寄与することを目的として実施しました。

社協運営登録者数

協力会員	69名	利用会員	46名	延利用回数	718回	延利用時間	925時間
三光	4名	三光	9名	三光	295回	三光	300時間
本耶馬溪	10名	本耶馬溪	8名	本耶馬溪	137回	本耶馬溪	162時間
耶馬溪	45名	耶馬溪	18名	耶馬溪	221回	耶馬溪	398時間
山国	10名	山国	11名	山国	65回	山国	65時間

3) 生活支援体制整備事業

今年度2年目の事業。地域包括ケアシステムの構築に向け高齢者の生きがいづくり・介護予防の視点を持ち、高齢者ニーズを把握し、生活支援サービスをはじめとする資源開発や地域づくりを行う事業。

(1) 生活支援コーディネーター業務

第1層生活支援コーディネーター1名を配置し、地域の状況に応じた包括ケアシステムの構築を図る

実施事業	活動項目	詳細内容
地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起	地域の高齢者の実態を知る	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン、地域サロン等へ参加し、高齢者の実態把握と聞き取り（50回） 地域包括支援センター訪問時高齢者の生活現状、実態の把握と情報共有（12回） 住民型有償サービス定例会参加により高齢者の状況や地域の現状を把握（34回）
	地域課題の把握	<ul style="list-style-type: none"> カフェ「よりあ」を開催し、新たな高齢者のニーズを把握（計45回） 「ミニミニクッキング」（2回）、「薬の知識」（1回）、「転倒予防」（1回）、 「認知症地域支援推進員へ相談会」（全12回） 地域包括支援センター・市・社協の地域課題抽出ワークショップ参加（1回） 地域福祉活動計画作業部会への参加により聞き取り（計21回） 地域福祉ネットワーク協議会会議の参加（4回） 地域ケア会議参加（3回） 子ども食堂へ参加し地域課題を知る（1回）
地縁組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけ	地域の団体への働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> 住民型有償サービス立ち上げ準備前に地域民生委員、自治委員、住民の方、班長等へ有償サービスの説明会開催（本耶馬溪西谷、東谷）（2回） 民生委員会議で有償サービスやコーディネーターの紹介 サロン、配食サービス等の団体への説明会開催（5回） 作業部会で有償サービスの説明と「支え合いスタッフ研修」参加依頼（6回）
関係者のネットワーク化	地域の資源のつながりづくり	<ul style="list-style-type: none"> 地域サロン5カ所の運営ボランティア座談会開催（1回） 既存の住民型有償サービス団体と、本耶馬溪地区・今津地区の立ち上げ準備会メンバーとの意見交換会開催 既存マネージャーとの同行訪問、例会参加、スタッフ同行等の調整（44件）
	多職種との連携を図る	認知症地域支援推進員、地域包括支援センター、訪問介護事業所、管理栄養士、調理士、作業療法士、薬剤師、福祉用具コーディネーター、MSW、居宅事業所等と連携を図る
	フォーマルとインフォーマルサービスの繋がり強化	<ul style="list-style-type: none"> 住民型有償サービススタッフと認知症地域支援推進員とをつなぎ、認知症サポーター養成講座の開催（2回）

目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一	住民同士の意見交換による地域の姿の共有・意識の統一	本耶馬溪地区（西谷地区）（東谷地区）、今津地区での住民型有償サービス団体立ち上げの説明を通じ、今後の地域づくりについての共通認識を図る（3回）
	他地区（市外）との交流	外部からの研修の機会に住民型有償サービス団体スタッフが参加し、現状報告やグループワークに参加することで、改めて目指す地域像等の共有を図る 10か所受入
生活支援の担い手の養成やサービス開発	担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・住民型有償サービス「支え合いスタッフ養成研修」開催（3回×2カ所＝計6回） 今津会場：受講者22名（修了者9名） 本耶馬溪会場：受講者17名（修了者8名） 研修内容：1日目 コミュニケーションについて、有償サービス・あんさんくの説明 2日目 住民型有償サービスについて、身体介護、見守りのポイント 3日目 認知症理解について、生活支援のポイント ・あんさんく登録者数（累計数）：193名 ・あんさんく登録者への「フォローアップ研修」開催 受講者：45名 研修内容：基調講演「傾聴～人の心に寄り添う～」講師：橋本医師 ミニ講話「介護保険について」講師：包括三光園 末永氏
	担い手に対する継続的な支援	<ul style="list-style-type: none"> ・住民型有償サービス団体のネットワーク協議会への参加（5回） ・各団体の月例会への参加（5団体 計34回） ・外部からの研修に対する支援（15回）
	担い手と活躍の場をつなぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のあんさんく登録者を既存の団体に紹介し、活動促進 ・住民型有償サービス利用からボランティア活動紹介：4名
	担い手の状況確認	<ul style="list-style-type: none"> ・あんさんく登録者に対して、サロンでの活動やボランティア活動等の助言 ・住民型有償サービス定例会において、スタッフの人数や業務内容、状況等の確認
	サービス開発	<ul style="list-style-type: none"> ・4月 山国地区住民型有償サービス「つゆくさサービス」発足（準備会1回） ・9月 耶馬溪地区住民型有償サービス「たんぼぼサービス」発足（準備会11回） ・本耶馬溪地区、今津地区での住民型有償サービス団体立ち上げに向けての話し合い（座談会・意見交換会・準備会）開催 本耶馬溪地区座談会～準備会開催：H28年7月～3月まで（10回） 今津地区座談会～準備会開催：H28年11月～3月まで（5回） ・東谷地区有償サービススタッフへの説明会開催（1回） ・週一体操開催に向けた話し合いへの参加（8回）
その他 事業に関する業務	関係機関へのつなぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・社協、住民型有償サービス、包括支援センター等各関係機関へつなぎ（有償サービスへの利用者紹介：7名） ・地域包括支援センター管理者会議において、第1協議体設置についての説明（2回） ・居宅連絡会にて事業の説明（1回） ・サロン関係者研修会へ参加し、サロンの運営や現状等の把握をし、関係機関に伝える
	活用できる事業・制度の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェよりあにて、随時、介護保険制度や総合支援や各活動の紹介と参加 ・地域福祉活動計画作業部会、市報、地域サロン、集会、地域福祉ネットワーク協議会等にて生活支援体制整備事業の紹介

4) 中津市福祉の里づくりサポーター事業

65歳以上の中津市の介護保険第1号被保険者が、サポーター活動（ボランティア）を行うことによって、本人の健康増進・介護予防・社会参加・地域貢献を通じた生きがいを目的として実施。

サポーター登録者数	660名
受入機関登録数	117カ所

（高齢者施設、障がい者施設、児童施設、給食ボランティア、地域サロン等）

5) ファミリー・サポート・センター事業

子育て中の家庭を応援するために、子どもの預かり等の援助を受けたい方（おねがい会員）と預かり等の援助を行う方（まかせて会員）との相互援助活動に関する連絡調整を行う事業。

おねがい会員登録者数	70名	活動件数	72件
まかせて会員登録者数	77名	活動延時間数	112時間

平成28年12月17日 ファミサポ会員交流会を開催 参加者 45名

6. 福祉意識の高揚・啓発及び育成

地域福祉の情報提供により、社会福祉協議会の事業紹介、福祉及びボランティア意識の育成並びに活動啓発のため広報紙を発行。

1) 社協だよりの発行

名称	年間発行回数	1回の平均部数	主な配布先
社協だよりのなかつ	3回	34,000部	全戸
社協だよりのなかつ（点字版）	3回	30部	市内視覚障がいの方

2) 地域福祉情報紙の発行

地区	名称	年回数	1回の平均部数	主な配布先
三光	とんぼのめ	3回	1,800部	全戸、公共施設
本耶馬溪	にじのはし	4回	1,500部	全戸、公共施設
耶馬溪	めいぷる	2回	3,600部	全戸、公共施設
山 国	かかし	11回	1,100部	全戸、公共施設

3) ボランティア情報紙の発行

名称	年回数	1回の平均部数	主な配布先
ボランティア・市民活動情報紙ぺんぎん	6回	5,500部	公共施設、自治委員、民生委員、ボランティアグループなど

4) 福祉教育・福祉講座の開催

No.	講座・研修名	回数	参加者	目的・趣旨
1	地域福祉講座 あなたの地域は、支え合っていますか！？～「支え合い」を「ホンモノの支え・合い」へ～	1回	42名	中津市内において、さまざまな地域福祉活動が広がりを見せている。その中で地域福祉活動の実践者を対象に「支える」立場だけでなく、「支えられる」立場も踏まえて「ホンモノの支え合い」を改めて考え、「支えあう地域づくり」の必要を再認識する機会をもつことを目的として開催。
2	地域福祉コーディネーター研修「“住民主体”ってなに!？」	2回	40名	中津市内において、さまざまな地域福祉活動が広がりを見せている。その中で地域包括支援センター職員、社会福祉協議会職員を対象とし、地域福祉活動の主役である住民の方々と必要に応じて、専門職としての関わりや働きかけも重要になってくる。そこで住民主体について、改めて考え、関係者同士で共有できる機会をもつことを目的として開催
3	地域福祉講座「寄り合いの場交流研修会」～サロンだよ！全員集合！！～	2回	118名	サロンの代表やお世話役の方々を対象として、中津市内の各サロンの活動内容や運営方法をお互いに話し合う場を持つことで、サロン間の交流を図り、サロン同士のつながりや魅力あるサロンづくりを推進することを目的に、中津会場・本耶馬溪会場の2会場で開催。

5) 事業所広報紙・新聞

広報紙・新聞名	年間発行回数	1回の平均部数	主な配布先
やすらぎだより	12回	125部	施設入所者の家族と関係者
ウテリー だより	12回	110部	利用者の家族と公共の施設（山国地区）
なのはな便り	12回	110部	利用者の家族と公共の施設（耶馬溪地区）
ひなぎく	12回	75部	利用者の家族と公共の施設（本耶馬溪地区）
さんこうデイだより	12回	50部	利用者の家族と公共の施設（三光地区）
児童館だより	12回	650部	三光地区の小中学校と児童関係の施設

6) ホームページ

新鮮な地域福祉に関する情報、地域資源の紹介、社会福祉協議会の紹介などをインターネットを通じて発信。

ホームページアドレス : <http://www.nakatsu-s.or.jp/>

7) 「わいわい福祉ひろば」事業

社協内にハートプロダクションを設け、市内近郊の視覚、聴覚、肢体の障がい者及び手話や点訳ボランティア、高齢者等をタレント登録し、市内の小中学校等に派遣し、生活体験の講話や疑似体験学習を通し、障がい者の理解・高齢者理解などの福祉意識の啓発を図る事業。

【年度実績】

実施校数（校）	21校
年間開催回数（回）	56回
受講者数 児童生徒（人）	2,375人
受講者数 保護者（人）	657人

【コース別】

聴覚コース	17回
視覚コース	16回
肢体コース	11回
エルダーコース	12回
合 計	56回

7. 法人組織体制の強化

1) 職員配置状況（所属別）

平成28年3月31日現在 単位：名

部署	正規	嘱託	臨時	非常勤	計
総務課	6	12	1	1	20
一般事務	4	2	1		7
福祉バス		1			1
センター管理		1			1
認定調査室	2	8		1	11
地域福祉課	24	7	0	0	31
一般事務	15	3			18
ボランティア・市民活動センター		1			1
あんしんサポートセンター		1			1
生活福祉資金		1			1
地域包括支援センター	9	1			10
福祉サービス課	3	0	8	36	47
一般事務	1		1		2
児童館			1	2	3
放課後児童クラブ			1	17	18
生活支援ハウス・ホーム	2		5	17	24
在宅福祉課	36	3	25	79	143
一般事務	3	1			4
三光事業所	4		5	19	28
本耶馬溪事業所	10		8	20	38
耶馬溪事業所	12	1	7	27	47
山国事業所	7	1	5	13	26
豊寿園	9	0	3	10	22
やすらぎ荘	38	2	16	15	71
合 計	116	24	53	141	334

2) 法人における各種会議や研修会

[会議・各部会の開催状況]

①課長会議	年 41 回	・看取り研修委員会	年 4 回	⑧福祉サービス課内会議・部会	
②経営会議	年 6 回	・すっきり委員会	年 3 回	・居住部会	年 3 回
③衛生委員会	年 11 回	・接遇委員会	年 2 回	⑨豊寿園内会議・委員会	
④エリア会議	年 44 回	・喀痰吸引委員会	年 12 回	・事故防止委員会	年 13 回
⑤係長会議	年 9 回	⑦在宅福祉課内会議・部会		・感染症対策委員会	年 6 回
		・生きがい通所介護部会	年 3 回	・各種運営委員会	年 15 回
⑥やすらぎ荘内会議・委員会		・機能訓練専門部会	年 2 回	・支援員会議	年 13 回
・やすらぎ運営会議	年 12 回	・訪問入浴部会	年 1 回	・献立委員会	年 12 回
・高齢者虐待防止委員会	年 4 回	・居宅介護支援部会	年 3 回	・ケース会議	年 21 回
・QOL生活向上委員会	年 3 回	・通所介護部会	年 5 回	・職員会議	年 12 回
・身体拘束未然防止委員会	年 12 回	・訪問介護部会	年 5 回	・新施設会議	年 11 回
・感染症防止委員会	年 4 回	・通所相談員部会（新規）	年 2 回	⑩実習担当委員会	年 2 回
・事故防止委員会	年 5 回	・通所看護職部会（新規）	年 1 回	⑪実習指導部会	年 5 回
・褥瘡防止委員会	年 4 回	・調理部会	年 3 回		(実習生受け入れ人数：4名)

8. 各種地域福祉事業

1) 葬祭壇貸出事業

葬祭具の貸出を実施

【貸出件数】

30件

耶馬溪	10件
山国	20件

2) 祝金婚記念品贈呈事業

平成28年度に金婚を迎える夫婦に対して、記念写真及び額を贈呈。

(校区)

南部	なし	大幡	3件	本耶馬溪	5件
北部	9件	如水	3件	耶馬溪	9件
豊田	2件	三保	4件	山国	6件
沖代	4件	和田	6件		
小楠	9件	今津	6件	合計	82件
鶴居	7件	三光	9件		

3) 児童館事業（三光）

幼児・児童・生徒に健全な遊びや学習、交流の機会を与え、健全育成に資するとともに児童館の適正な運営を図った。

開館日数 263 日

児童館利用者数 11,629名

就学前児童	845名
小学生	9,667名
中高生	273名
保護者・ボランティア	844名

4) 寝たきり高齢者見舞品贈呈事業

市内の寝たきり高齢者世帯に対して、日常生活上の在宅介護に係る負担軽減と便宜を図ることを目的として、歳末助け合い募金配分事業により、見舞い品（介護用品）を贈呈。

（校区）

南部	6件	大幡	7件	本耶馬溪	15件
北部	13件	如水	9件	耶馬溪	4件
豊田	11件	三保	1件	山国	9件
沖代	12件	和田	3件		
小楠	7件	今津	10件	合計	136件
鶴居	21件	三光	8件		

5) 障がい者ミニデイ支援（鈴の音）

障がいのある方とボランティアがお互いに理解・尊重して、共に地域の住民として交流できる場として、社協として障がいのある方への支援に対するニーズ把握の場を目的として開催。

開催日数 11 日

実利用者数 12 名 延利用者数 90 名

実登録者ボランティア数 11 名 延参加者数 78 名

6) 安心生活支援事業（買い物支援事業：山国）

一人暮らし高齢者及び高齢者世帯に対して、訪問聞き取り調査を行い、その結果から「買い物したいが移動手段が無い」等の意見があり、見守りを兼ねた買い物支援事業を立ち上げ、平成23年11月から事業開始。

協力登録店舗	10店舗
利用登録会員	29名
実利用者数	15名
買い物配達回数	282件
買い物支援を行った販売金額	703,651円
買い物サロン（買い物バス支援）	2回

* 1回当たりの平均購入額 2,495円

*6/21前谷サロン（7名）・裏谷サロン（12名）・上村なかよしサロン（7名） 計26名、
7/25春田サロン（11名）・みさとサロン（15名） 計26名

9. ボランティア市民活動センター事業

1) ボランティア・市民活動センター事業

ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティア活動の発掘と支援のための相談、連絡、調整、育成、啓蒙活動等を実施。

①ボランティア希望・募集・相談 257件

②夏のボランティア体験月間

市内の中高大学生を中心に、市内の施設等で福祉体験学習を実施。

（体験参加者数） 141名 （実施期間）平成 28年 7月21日 ～ 8月31日

一般	1名
大学・専門学校生	6名
高校生	83名
小・中学生	51名

（受入施設） 35 ヶ所

③春のボランティア体験

（体験参加者数） 63名 （実施期間）平成29年 3月1日 ～ 4月上旬

一般	なし
大学・専門学校生	5名
高校生	58名
小・中学生	なし

（受入施設） 16 ヶ所

④市社協指定ボランティア推進校 10 校

⑤ボランティア活動保険

ボランティア活動を行う個人・グループが安心して活動が行えるようボランティア活動保険の加入促進。

加入者数 3,084 名

⑥ボランティア登録状況

社協登録のボランティアグループ・個人登録（各種講座及び研修会の案内、連絡調整他）

地区	団体会員数	団体数	個人登録
中津	3,255名	119団体	697 名
三光	139名	11団体	
本耶馬溪	131名	6団体	
耶馬溪	229名	9団体	
山国	271名	16団体	
計	4,025名	161団体	

⑦ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催

中津市ボランティア・市民活動センターが行う、ボランティア活動・市民活動の推進に関わる様々な事業の運営について、多様な立場の考え方や意見を反映させることにより、さらなる事業の発展及び市民に開かれたセンターを目指す目的として、中津市ボランティア・市民活動センター運営委員会の設置及び開催。

期日	協議内容
平成29年3月9日	①センターの運営と取り組み状況について ②年間スケジュールについて ③ぼらかふえについて（若年層への働きかけなど）

10. その他社協事業

1) 福祉バス運行事業

地域福祉活動の円滑化と福祉充実を図るための福祉バスの運行事業。

運行回数 130 回 延利用者数 3,333 名

2) 災害見舞金支給事業

市内に在住する世帯で、火災により家屋が全焼又は、半焼した世帯に対して、見舞金を支給。

対象件数 4 件

3) 施設等管理運営事業

No	施設名	開設日数	延利用者数
1	中津市教育福祉センター	310日	40,092名
2	三光福祉保健センター	243日	12,349名
3	本耶馬溪総合福祉センター管理棟	243日	546名
4	耶馬溪介護研修センター	243日	581名
5	すぱーく耶馬溪多目的広場	278日	961名

11. 各種共催・後援状況、視察受入、協力

1) 共催状況

今年度、共催なし

2) 後援状況

No.	開催期間	行事名	主催者名
1	H28. 10. 22	～介護就職デイ～2016年度 県北地区福祉のしごと就職フェア	大分県福祉人材センター
2	H28. 9. 18	中津市身体障がい者協議会 第9回球技大会	中津市身体障がい者協議会
3	H29. 3. 19	第8回中津市母子寡婦福祉大会「子どもの笑顔は親のパワー」	中津市母子寡婦福祉連合会

3) 視察の受入れ、協力状況

No.	年月日	県等	受入先	受入数	視察内容
1	H28. 5. 18	大分	豊後高田市役所	5名	生活支援体制整備事業
2	H28. 6. 10	大分	玖珠町社会福祉協議会 サロン関係者	16名	市内の福祉概要、沖代すずめ見学
3	H28. 6. 14	福岡	八女市社会福祉協議会	13名	社協組織体制等
4	H28. 6. 28	大分	大分市金池校区社会福祉協議会	30名	生活支援サービス（有償等）
5	H28. 7. 15	佐賀	吉野ヶ里町社会福祉協議会	6名	市内の福祉概要、沖代すずめ見学
6	H28. 7. 26	大分	竹田市直入地区社会福祉協議会	15名	市内の福祉概要、沖代すずめ
7	H28. 8. 16	福岡	春日市生活支援サポーター、春日市社会福祉協議会	14名	住民型有償サービススタッフとの交流会
8	H28. 9. 30	福岡	鞍手町自治公民館連絡協議会	25名	寄り合いの場の現状
9	H28. 10. 4	大分	玖珠町北区民生委員・豊後大野市千歳地区民生委員	12名	市内の福祉概要、沖代すずめ見学
10	H28. 10. 13	大分	竹田市民生児童委員協議会	70名	災害時の民生委員活動と災害ボランティア
11	H28. 10. 27	福岡	久留米市犬塚地区民生委員児童委員協議会	11名	市内の福祉概要、沖代すずめ見学
12	H28. 10. 28	熊本	天草市栖本民生児童委員協議会	15名	ノーソククラブ、サロン状況
13	H28. 11. 10	大分	大分市鷲野地区社会福祉協議会	30名	生活支援サービス（有償等）
14	H28. 11. 11	佐賀	市町、社協（太良町、鹿島市、嬉野市、白石町、江北町）	10名	生活支援体制整備事業
15	H28. 11. 14	福岡	戸畑区民生委員児童委員協議会	80名	災害時の民生委員活動と災害ボランティア
16	H28. 11. 25	佐賀	伊万里市山代公民館	20名	災害時の民生委員活動と災害ボランティア
17	H28. 11. 29	長崎	諫早市社会福祉協議会 G20	25名	市内の福祉概要、沖代すずめ
18	H28. 12. 2	大分	九重町お助けリーダー、社協	16名	生活支援サービス（有償等）、沖代すずめ
19	H28. 12. 9	福岡	うきは市 大石地区	25名	住民型有償サービス
20	H29. 1. 13	韓国	韓国地域福祉アカデミー	22名	市内の福祉、社協概要
21	H29. 1. 24	大分	大在地区社会福祉協議会 役員	41名	市内の福祉概要、福祉の里サポーター
22	H29. 2. 3	滋賀	高島市社協、地区社協	8名	市内の福祉概要、沖代すずめ見学
23	H29. 2. 4	滋賀	高島市社協、地区社協	8名	市内の福祉概要、こまどりの家見学
24	H29. 2. 10	滋賀	高島市社協、地区社協	8名	市内の福祉概要、沖代すずめ見学
25	H29. 2. 11	滋賀	高島市社協、地区社協	8名	市内の福祉概要、こまどりの家見学
26	H29. 2. 17	佐賀	白石町 第1層協議体委員、事務局	16名	生活支援体制整備事業
27	H29. 3. 2	福岡	八女市社協	7名	生活支援体制整備事業
28	H29. 3. 14	福岡	鞍手町 コミュニティハウス赤れんが、社協	20名	市内の福祉概要、沖代すずめ

合計 576名